

## ALC NetAcademy 利用状況

### 1. 概要

ALC NetAcademyは英語授業利用を主目的としたWeb学習プログラム(コンテンツ)で、2004年に導入され、パイロット運用を開始した。2005年にWebサーバを4台構成にして、同時利用(一斉で300人規模)の授業利用が可能となった。

2008年にはALC NetAcademy2にバージョンアップされ、操作性・機能が向上された。2012年にはサーバの仮想化及び認証連携を実施し、V-CampusIDによる認証連携を実現した。

2013年にこれまで使用していたコース(スタンダード)契約から、スーパースタンダード/TOEIC2000というコースに変更し、コンテンツ・教材数を増やし授業利用の幅を広げている。

### 2. 利用状況

#### ▼利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	2205	2176	2148	2079	70	2339	2388	2364	2321	2222	118	128
2016年度入学	2095	2093	2067	2029	20	2265	2294	2267	2223	2170	69	67
2015年度入学	53	28	26	13	22	22	36	45	44	16	25	28
2014年度入学	33	36	41	21	19	29	39	28	32	23	14	15
2013年度入学	22	15	14	16	8	22	17	22	19	12	8	15
2012年度以前	2	4	0	0	1	1	2	2	3	1	2	1

表1：月別利用人数集計

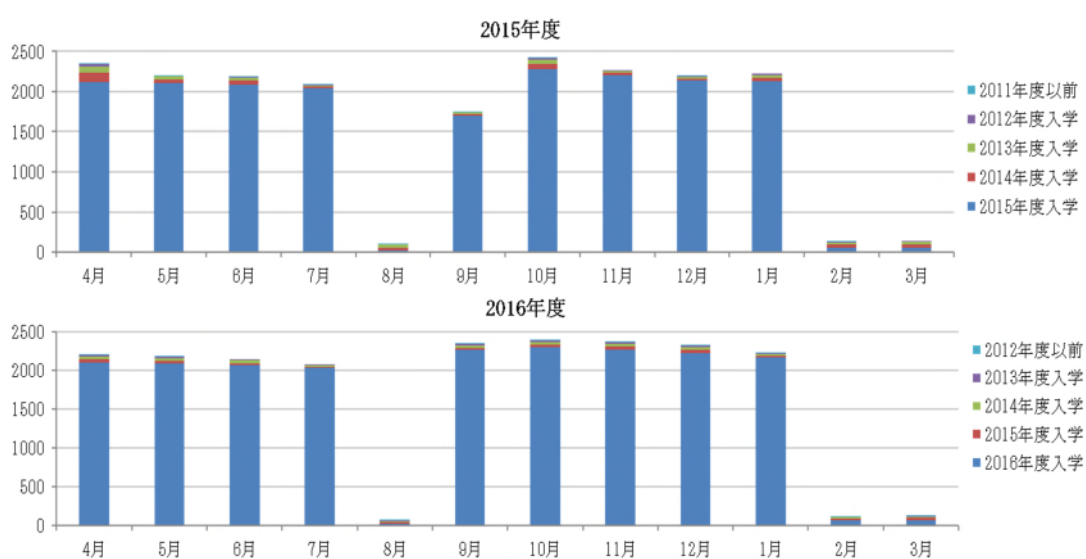


図1：2015年度、2016年度利用人数

### 3. 2016年度のまとめ

ALC NetAcademy2 利用者の割合は、昨年と同様に E-learning 授業が必修である 1 年生が大半を占めており、2 年生以降の英語学習に継続利用されていないことが伺える。

今後は自己学習用の英語教材である Rikkyo English Online (REO) と共に、利用を推進する活動を関係者と共に検討・実施していく。

新たな試みとしては、2016 年度終盤に上級英語クラスの学生登録を行い、英語力の高い学生の利用と上級英語クラスでの授業利用を可能とする対応を実施した。